



向かって右側の3階建が市庁舎、
左側の2階建が議事堂



記念式典参加者に送られた記念品

vol.22

昭和27年市制施行15周年



新居浜
新居浜の
玉手箱

市史編さん室では、新居浜市に關係する古い資料を調べています。
あなたのご自宅にも古い写真や文書などが眠っていませんか？皆さんからの情報をお待ちしています。

昭和12年に誕生した新居浜市は、戦争や庁舎火災など、さまざまな苦難を乗り越え、昭和27年に市制施行から15周年を迎えます。この年4月には新しい市庁舎（後の郷土美術館。平成28年3月閉館、解体）、10月には市議会議事堂（現市庁舎建設時に解体）が完成します。

11月3日には市公会堂で記念式典が行われ、参加者に記念品として新庁舎や市内名所の写真が贈られました。同時に開催された祝宴では、来賓470人に折詰おりづめとつき出し、一般職員25人にはスルメが用意されたようです。

こうした記録は当時の世の中の雰囲気や伝えてくれます。赤茶けた文書に顔を近づけて念入りに見ていると、どこことなくスルメの匂いがしてくるようです。

▼市史編さん室（☎65・1567）

新居浜市医師会提供

健康手帳

Vol.296

<アトピー性皮膚炎の治療>

アトピー性皮膚炎（アトピー）は、かゆみのある湿疹を繰り返す病気です。治療の目標は皮膚をいい状態に保ち、日常生活に支障をきたさないようにすることです。アトピーの治療の主体は塗り薬で皮膚の炎症を取ることです。補助的にかゆみ止めの飲み薬、保湿剤を併用することも多いです。アトピーの治療で最も使用されるのはステロイド

の塗り薬です。非常に有効ですが、局所的な副作用のリスクはあります。長期に塗る副作用としては、皮膚が薄くなったり、細い血管（毛細血管）が浮いてくるようなことがあります。そのため、ステロイドでない塗り薬も使われます。タクロリムス、デルゴシチニブの塗り薬がアトピーの炎症を抑える作用があります。

大多数のアトピーは塗り薬を主体とする標準的な治療を行うことで、十分いい状態を保つことができます。

重症、難治の場合には特殊な飲み薬、注射薬を使用することもあります。